

1: 出席者

加藤<sup>a</sup>・大西<sup>b</sup>・片山・能登・平林・内藤<sup>c</sup>・勝間<sup>c</sup>・吉尾<sup>c</sup>・須田<sup>c</sup>・合川<sup>c,d</sup>・吉田<sup>c</sup>

(<sup>a</sup>:委員長, <sup>b</sup>:議長, <sup>c</sup>:オブザーバー, <sup>d</sup>:書記)

2: 報告

- 甲南 ブリュッセル自由大学共同プロジェクトへ参加予定であり、年明けに協力内容について議論をする予定である。(加藤)
- 理化学研究所の小濱氏から NRDF についての解説依頼があり、1 月に大塚氏が講習会を行う予定である。(加藤)
- EXFOR Basic Manual の日本語版を Web 上に掲載する。(片山、大塚)
- D1600 番台が主体の Prelim.E024~E026 を IAEA に送付した。今後 D1500 番台のコーディング作業に入る予定である。(吉田、大塚)
- IAEA で 12 月 1~5 日に行われた EXFOR コーディングに関するワークショップに参加した。(合川、大塚)
- VBL 懇談会で検索・表示システムのデモンストレーションを行った。(内藤、合川)

3: 議論

- コードについて

以下のコードが新規に提案され、承認された。

MAG+SCT+TOF+MWPC	(H)	Magnet+Scintillator+ToF+MWPC
DELTA-TOT-KIN-ENGY	(H)	Error in Total kinetic energy
THK-TGT	(H)	Thickness of target
FISSN-YLD	(V)	Fission yield
PRBLE	(W)	Probable
MOST	(W)	Most
MOST-PRBLE-CHRG	(V)	Most probable charge
MOST-PRBLE-CHRG	(H)	Most probable charge
DELTA-MOST-PRBLE-CHRG	(H)	Error in Most probable charge
DELTA-LEG	(H)	Error in Legendre coefficient
INC-MOM-LAB	(H)	Incident momentum in lab. system
SI.O2	(V)	SiO2

- NRDF の使用文字について

フリーテキストの部分(注釈、タイトル)については小文字の使用を認める。

著者についてはさらに検討する。

- 入射エネルギーの表記について

論文に記載されている情報と著者提供の情報が異なる場合には、著者提供の正確なものを採用し、コ

メントを追加する。

- 重心系での反応式の記載方法について

JCPRG としては標的核と入射核を厳密に区別する方式を支持する。

#### 4: 次回

2004 年 1 月 26 日 18:00~